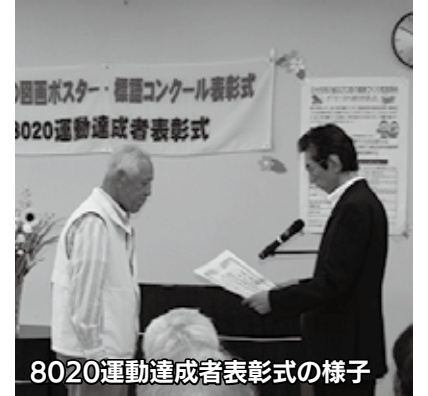




7・8月に市内で行われたイベントなどについてお知らせします

は けんこう
歯ッピースポーツフェスタ



7月7日(土)、今市保健福祉センター(平ヶ崎)で歯ッピースポーツフェスタが開催され、300名以上の来場者でにぎわいました。

よい歯の図画ポスター・標語コンクールの表彰式と、80歳以上で20本以上自分の歯がある方を表彰する8020運動達成者表彰式が行われ、日光歯科医師会の中村雅夫会長から表彰状が授与されました。式では、県歯科医師会の安西未央子常務理事が「口の健康は全身の健康につながり、健康寿命を長くすることになります」と祝辞を述べ、受賞者を称えました。

フェスタでは歯医者の仕事体験ができる歯ッザニアコーナーなども設けられ、体験した出口智悠さん(小3)は「自分も治療を受けたことがあるけど、方法がよくわかった」と話してくれました。



虫歯を削って治療中

ラピッド市中学生・高校生夏季交流事業

7月15日(日)〜23日(月)、海外姉妹都市ラピッド市(アメリカ合衆国サウスダコタ州)の中学生・高校生15名と同行者4名が日光市を訪れ、市内の家庭にホームステイをしながら、交流活動を行いました。

16日(月)・祝は、市国際交流協会主催の歓迎会が行われ、バーベキューや川遊びをしながら、会員や市内の子どもたちと交流を深めました。

ました。

また平日は、日光江戸村や中禅寺湖、日光東照宮などを訪れ、日本の文化や自然を体験しました。滞在中は乾燥した気候のラピッド市とは異なる、高温多湿の猛暑日が続きましたが、生徒たちは帰国の際に、「口をそろえて「とても楽しかったです。また必ず日光市を訪れます」と笑顔で話してくれました。



奥日光も暑かった!

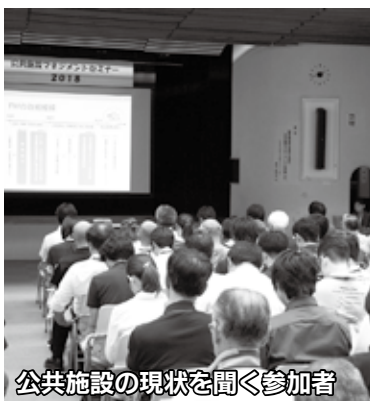


「日本食おいしくいただきました」

公共施設マネジメントセミナー

7月20日(金)、中央公民館で公共施設マネジメントセミナーが開催されました。基調講演では、小田原市職員の細谷夢津美氏が、小田原市の現状や、これまでの取り組みについて講演を行いました。

また、日光市の現状や、マネジメントの必要性、取り組みなども紹介され、集まった参加者は真剣に聞き入っていました。



公共施設の現状を聞く参加者

さよなら(旧)長崎屋ビアガーデン

7月27日(金)・29日(日)、ショッピングプラザ日光屋上で、「さよなら(旧)長崎屋ビアガーデン」が開催され、訪れた人々は、屋上から見える風景を名残惜しんでいました。

職場仲間と来場した荒井さんは「地元出身ですが、初めて屋上に来ました。一段とビールがおいしいです」と話してくれました。



屋上で飲むビールは格別!



今月の表紙

第50回龍王祭



勇壮な鬼祭会の万燈神輿

7月27日(金)・28日(土)に鬼怒川温泉で、28日(土)・29日(日)に川治温泉で「第50回龍王祭」が開催されました。

鬼怒川温泉の会場は、ステージで龍王太鼓やお囃子、ものまねショーなどが行われました。また、鬼祭会の万燈神輿や、一般公募で集まった女性たちによる女樽神輿が温泉街を練り歩き、会場は熱気に包まれました。

一方、川治温泉の会場は、ご当地アイドルやジャズバンドなどのステージの他、第50回の特別企画として「ミニ動物園」が開催され、来場者を楽しませました。

今回は、台風の影響でプログラム内容に変更が出たものの、いずれの会場も、市民と観光客が一つになって盛り上がっていました。



笑顔で練り歩く女樽神輿



懐かしい写真もたくさん展示

示 龍王祭50周年記念展

7月10日(火)から、藤原総合文化会館で龍王祭が50周年を迎えた記念の展示会が開催されています。「半世紀の軌跡〜未来へつなぐ、地域のまつり」をテーマに龍王祭のこれまでの歴史をたどる写真や映像、実際に使われる神輿などが展示されています。

なお、展示会は8月31日(金)まで開催します。



園児も一緒に歌と手拍子♪

日本学園訪問演奏会

8月1日(水)、東京都の中高一貫の男子校、日本学園の吹奏楽部の学生16名らが、市内施設で訪問演奏会を行いました。

芹沼保育園、杉の子保育園、清流保育園の合同演奏会では、学生がアニメキャラクターなどに仮装し、寸劇を交えながら、アニメソングや童謡を中心に演奏を行いました。園児はお兄さんたちの演奏を夢中で楽しんでいました。



開門を待つ大勢の登山者

男体山登拝大祭

日光二荒山神社の御神体である男体山の登山口の門(中宮祠)が、8月1日(水)午前0時に開かれ、夜間登山がスタートし、山頂までの約6kmの山道に800名ほどの登山者が日の出を目指して入山しました。登山時間が3〜4時間といわれる中、日の出前に続々と山頂(奥の院)に登山者が到着。残念ながら日の出の午前4時40分には山頂は雲に覆われ、御来光を見る



「登っただけで価値があります！」

ことはかありませんでしたが、登山者は日の出の方向に向かって、登山達成を万歳で祝いました。

日頃からグループで登山を楽しんでいる茨城県日立市の柴田栄さん(66歳・写真左)と宇都宮市東築瀬の高橋麻記子さん(41歳・右)は「御来光は拝めなかったが、山登りの過程が大事で、楽しかった。また来年登ります」と爽やかに話してくれました。